

人間市公共施設マネジメント事業計画学校統合地区検討会議（西武地区）概要

1 設置目的

公共施設マネジメント事業計画が地域に与える影響や課題について地域住民の意見を聴取する。

2 委員構成

市から委嘱した21名。（委嘱期間は令和元年7月25日(木)から令和3年3月31日(木)まで。）

3 活動期間

令和元年7月25日(木)から令和3年3月29日(月)までの期間に会議を10回開催した。

4 意見交換の概要

検討会議においては、「生徒数の減少により教育機会が損なわれている課題に対応し、教育環境を向上させるためには、中学校の統合は必要である。」ということを委員の共通認識とした上で、西武中学校・野田中学校の統合に向けた課題や配慮が求められる事項などについて意見交換を行った。

(1) 事業計画の課題

① 統合する時期（令和11年度）について

統合に向けては様々な課題があるが、生徒数の減少により生じている教育活動や部活動が制限されている状況の改善が重要な課題であり、なるべく速やかな対応が求められる。

〔課題〕

- ・教育環境の向上の早期実現

② 西武中学校を運営しながら建替えを行うことについて

工事中の生徒・教職員の安全確保や学校生活が受ける制約などの面で様々な懸念がある。また、施工性が悪く費用や工期の面で不利と見込まれる。

〔課題〕

- ・工事中の安全や学習環境の確保
- ・事業費の縮減

【対応の方向性についての検討会議の意見】

西武中学校と野田中学校の統合は、第一段階として野田中学校を活用して可能な限り早期に統合し、第二段階として西武中学校を建替えた後に移転する方法が望ましい。

(2) 中学校の統合に向けた課題・配慮が求められる事項

① 通学に関することについて

学校の統合に向けて、通学路の安全確保は重要であり、将来的にも継続的な検討が必要である。また、通学距離が長くなる生徒の負担軽減について検討が必要である。

〔課題〕

- ・通学路の危険個所に対するハード・ソフト両面からの安全対策
- ・通学路の精査及び安全な通学路の設定
- ・自転車通学や公共交通機関の活用も含めた通学手段の検討

② 新しい学校の整備について

これから建設する学校は、先進的かつ快適な施設環境を備えるとともに、災害時の施設の安全確保について万全の対策が必要である。また、地域の防災拠点として重要な役割を担うことへの配慮が求められる。

〔課題〕

- ・全国的なモデルケースとなる施設の整備
- ・トイレの自動化など快適な生活環境を備えた施設の整備
- ・自然災害への対応を十分に配慮した施設の配置、周辺環境の整備
- ・地域の避難場所、避難所であることを踏まえた機能の整備

③ 計画の周知について

情報が不足すると事業計画への理解が深まらず、疑問や不安が生じてしまう要因となるため、地域への丁寧な説明が大切である。また、学校と地域の連携を深めていくために、学校の整備に保護者や地域の声を採り入れることが求められる。

〔課題〕

- ・地域の理解を得るための十分な市民説明
- ・計画の進捗状況の説明及び施設整備に向けた意見聴取の機会の設定

④ 防災対策・地域や人へのケアについて

学校は、地域の防災やまちづくりにおいて大きな役割を担っていることから、統合が地域に及ぼす影響について十分な対応、丁寧な説明が求められる。

〔課題〕

- ・公共施設配置の変更に合わせた地域防災計画の見直しと啓発
- ・跡地活用策の十分な検討と地域への丁寧な説明

⑤ 統合の際に配慮することについて

学校の統合による生徒の負担を軽減するため、統合に向けた取り組みの中で、様々な工夫を講じることが求められる。

〔課題〕

- ・学校生活や受験などに配慮した引越し時期の設定
- ・統合前の児童・生徒交流

⑥ その他

新たな学校の整備に向けては、様々な取り組みを検討することが求められる。

〔課題〕

- ・保護者や地域の有志の協力による引越しの実施など地域との連携強化や経費削減の工夫

5 今後の進め方

検討会議の成果を引き継ぎ、学校の統合に向けて具体的な内容を検討する（仮称）学校統合委員会を設置する予定。

- ・（仮称）学校統合委員会は、統合後の新校の名称、学校の運営、学校の施設、通学に関すること、学校用品などの重要事項の検討及びとりまとめを行う予定。
- ・今回の検討会議を通して整理した課題などについては、この（仮称）学校統合委員会における検討事項として位置付け、実際の学校整備に向けて協議していく。